

# 時をひらくる

— 大観の朝焼け、  
春草の夕暮れ

2024  
2/10 SAT → 3/24 SUN

## Capture the Moments

— The Morning Scene by Taikan,  
The Evening Scene by Shunso

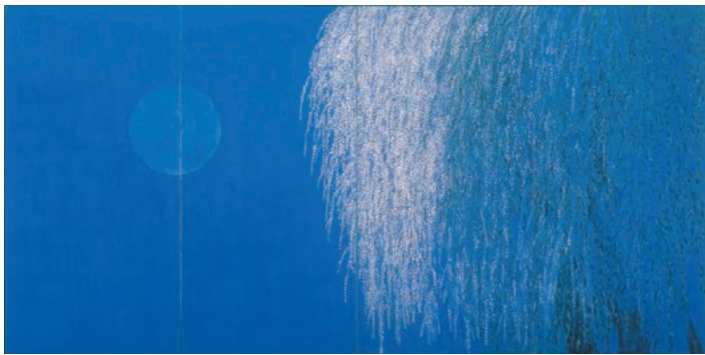
 水野美術館

〒380-0928 長野市若里 6-2-20  
Tel 026-229-6333 Fax 026-229-6311  
<https://www.mizuno-museum.jp>

横山大観《朝輝》部分 1930年

開館時間=9時30分～17時(入館は16時30分まで)  
休館日=毎週月曜日(但し2月12日は開館、2月13日は振替休館)  
入館料=一般1000円 中・高校生600円 小学生300円

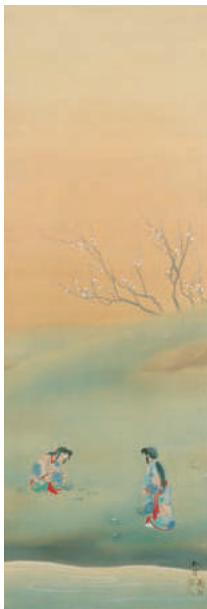
※20名以上の団体は各100円引き ※小・中学生は毎週土曜日無料  
※小・中学校が授業の一環として利用する場合は無料 ※お着物でご来館の方は半額  
※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と、付添1名は半額(要手帳提示)



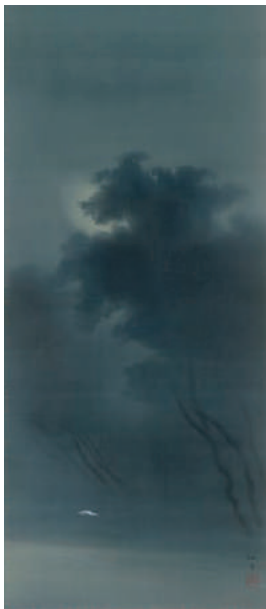
平松礼二《月光の曲》1990年



菊池契月《落花》1904年



菱田春草《双美摘草》1901年



西郷孤月《月下飛鷺》1900年

輝く朝日、暮れていく空、四季折々の情景など、移ろう時の中から画家がとらえた一瞬の光景を、私たちは作品を通して見ることが出来ます。

たとえば、横山大観《朝輝》に描かれているのは、真つ赤な太陽が山々を照らし始める朝の風景です。その鮮やかで力強い輝きには、還暦を過ぎてもなお創作意欲を燃やし続けた大観の信念が表れているようです。また、菱田春草《夕の森》には、空が茜色に染まる黄昏時の情景が広がります。薄暗く霞んでいく空の色は、ぼかしを活かした独自の表現であり、春草の豊かな感性を伝えていきます。

本展を通じて、画家たちがとらえた「時」を探るとともに、そこに現れる彼らの個性をどうぞお楽しみください。

# 時をとらえる

## 大観の朝焼け、春草の夕暮れ

水野コレクション



大山忠作《蓬莱朝陽》1999年



横山大観《桜花・紅葉》右幅 1935年



菱田春草《夕の森》1902年

## イベント ※申込不要、参加無料(要当日有効の入館券)

### 学芸員によるギャラリートーク

●日時:2月17日(土) 14時～ ●場所:展示室

### 交通のご案内

#### バスを利用の場合

##### JR長野駅下車、

##### 【長電バス】(平日のみ)

東口から「日赤・水野美術館行き」

乗車約10分「水野美術館」下車すぐ

##### 【アルピコバス】

善光寺口から「大塚南行き」「松岡行き」

乗車約15分

(平日)「水野美術館前」下車すぐ

(土日祝)「ビッグハット」下車、徒歩約5分

※詳細は各交通会社へお問い合わせください。

#### 車を利用の場合【無料駐車場70台】

上信越自動車道「長野インター」から約15分



Facebook & X (旧 Twitter) 随時更新中!

次回展

特別企画展

THE 新版画 版元・渡邊庄三郎の挑戦

同時開催 水野コレクション 墨をあじわう

会期:2024年4月6日(土)～5月26日(日)

水野美術館

ZENKOJIDAIARA ARTLINE 善光寺平アートライン

〒380-0928 長野市若里 6-2-20 Tel 026-229-6333 Fax 026-229-6311  
https://www.mizuno-museum.jp

入館料  
割引券

100円引

※会期中1枚につき1名様のみ有効

※他の割引券との併用はできません